

平成26年度 自己評価結果

平成27年5月22日(教職員評価)

1. 園の教育方針

あいしゅう幼稚園では、子ども達が、“大空と太陽と風と土”“四季の花や木々の芽吹き”“小鳥やセミ、カエルの音楽”“木の実や大地の恵み”をいっぱい浴び、子どもにとって大切な「あそび」を通して、たくさんの感動や喜びを味わうことで、何処でも、誰とでも仲良しができ、自ら学習しようとする動機づけを持った、個性豊かな人格を形成することを教育方針としている。

2. 本年度の主たる目標と計画

- 自己評価結果項目を評価して振り返るだけでなく、教職員が共通理解を持ち、使ってみることで、その共通性や考え方の違いに気付き、保育士はじめ職員間の対話が始まるよう活用する。
- 保育士としての専門性に関する研修に参加し、自分なりの幼児観、保育観について客観的に見つめる力を身に付ける。

3. 評価項目と取組状況

| | 評価項目 | 取組状況 |
|----|-------------------------------|--|
| 1 | 保育課程の編成・実施に関して、教職員間の共通理解をはかる。 | 幼稚園教育要領について教職員全体で話し合う場を持つとともに、外部講師を招く等して深く理解するように努めている。 |
| 2 | 園の教育理念・教育方針の理解 | 園の教育理念や教育方針を教職員全体で共有できるよう、職員会議等を有効に活用している。 |
| 3 | 保育者同士の協力と連携 | 指導上配慮を要する幼児については、園の教職員全体で話し合う場をもち、情報を共有し指導している。 |
| 4 | 専門家としての能力・良識・義務 | 夏休み等を利用して、広い分野での研修に積極的に参加することにより、高度な専門知識や技能を身につけるようにしている。 |
| 5 | 情報の発信と受信 | 個々の子どもの様子を電話やおたよりノートで伝えたり、直接保護者と話し合うようにしている。 |
| 6 | 園の教育理念・教育方針の理解 | 園の教育理念や教育方針を教職員全体で共有できるよう、職員会議等を有効に活用している。 |
| 7 | 健康への配慮 | けがや事故には特に配慮し、年齢に応じた適切なことばがけを行い、安全への注意を喚起している。 |
| 8 | 指導とかかわり | 一人ひとりの幼児の思いを把握して寄り添いながらかかわっている。 |
| 9 | 園舎等の施設設備について安全点検の体制づくりを確認する。 | 遊具のねじの緩みや、柵などのコーナークッションがはずれていないか。また、空気清浄機等の保護柵等が壊れていないか等チェックをする。 |
| 10 | 保育の質の向上のために、園内の意見交換を充実させる。 | 毎月の職員会議に加え、各行事の反省会等において、進行役を交代で行うことで、みんなが意見を出せるようになってきた。 |

4. 全体としての評価結果と今後の課題

本年度は、幼稚園型認定こども園に移行する中で、幼稚園教育要領のみならず、認定こども園要領についても研鑽を重ねてきた。次年度から自己評価に取り組んだ結果、はじめは実感が湧かなかったが、その他の項目を含めて点検する中で、自分の保育士としての甘さや課題が具体的に浮かびあがるようになって来た。しかし、子育て支援等において、家庭の子育てに真剣に悩む保護者へのケアに真剣に取り組むには、園内研修のみならず、専門的な研修の習得が必要であると痛感した。